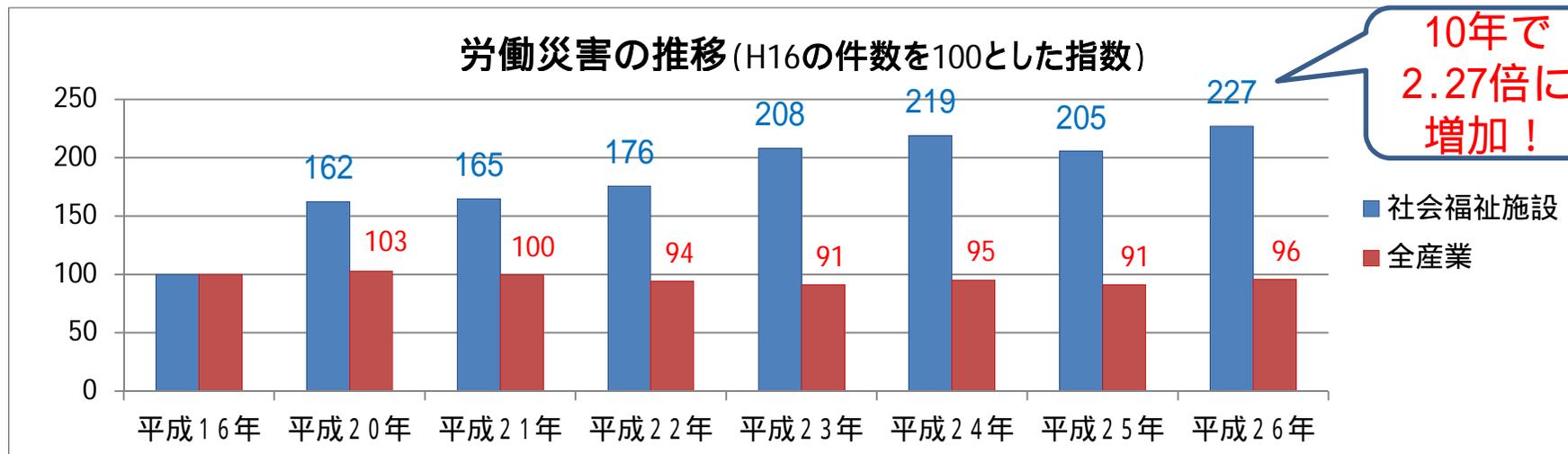


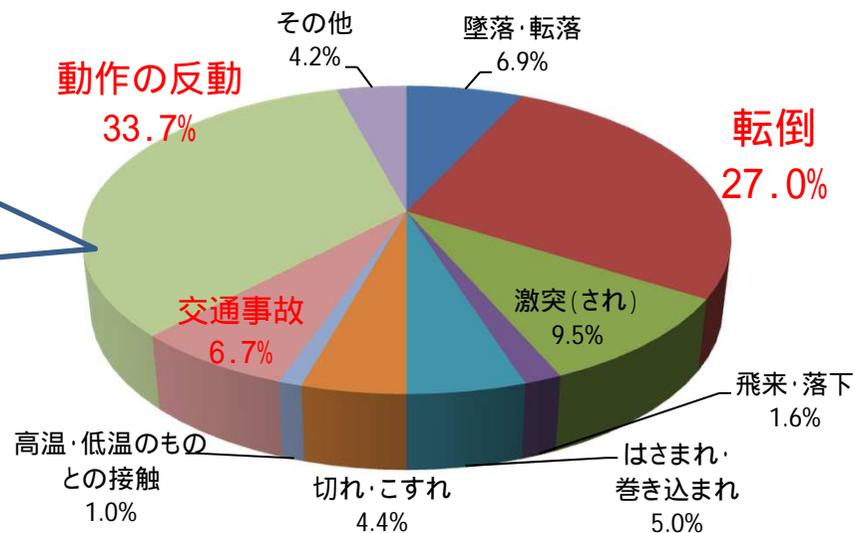
社会福祉施設における労働災害の発生状況

奈良労働局

出典：労働者死傷病報告(休業4日以上)より

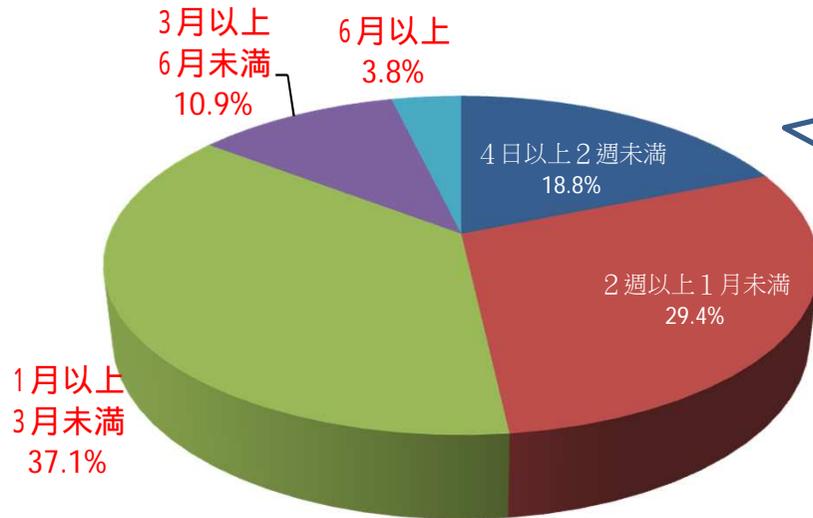


①事故の型別 (H20～H26累計:504人の内訳)



- ・動作の反動(腰痛やねんざなど)と転倒で全体の60%
- ・交通事故はデイサービス、訪問介護時の自動車運転中が多い

怪我の程度別 (H20 ~ H26 累計: 504人の内訳)



・休業1月以上が半数
 ・休業1月以上では建築物等を起因物とするものが最多となっている。

休業1月以上の災害事例

- ・2人で利用者の乗った車椅子を持ち上げ階段を上ろうとしたところ、バランスが崩れ荷重が偏り腰痛となった。
- ・通路が濡れていたため、滑り転倒した。
- ・椅子に乗り高所のものを取り出していたところ、バランスを崩し転落した。

・骨折と捻挫等で60%
 ・腰痛は、施設利用者の移動補助時、転倒しかけた施設利用者をとっさに支えた場合等の発生が目立つ。

③傷病別発生状況 (H20 ~ H26 累計: 504人の内訳)

